

家電リサイクルの現場的課題

2013年10月23日

NPO法人中部リサイクル運動市民の会

東アジア3R研究所

浅井直樹

最大の課題：後払いシステム

- ☆ リサイクル料金の後払い制が、
- ☆ 消費者（排出者）からの割高感、負担感、回避＝不用品回収業者への潜在的誘導となっている現実
- ☆ 特定された品目、限定されたメーカー数であるにもかかわらず、なぜ預り金制度ができないのか！
- ☆ 自動車業界ができて家電業界はなぜできないのか！

威力を発揮する水際の規制

現場(環境省地方事務所)は良く頑張っている



効果も発揮している

→家電4品目の搬入、買取を拒むヤード業者が増えている。

悪化が良貨を駆逐しつつある現実

- ☆ライセンスのない集荷業者の名義借りによる
輸出が家電のミックスメタル混入の温床
- ☆税関への輸出申請をしないので、税関・地方
環境事務所の積込み前立入検査をすり抜け
- ☆港での船積み現場での抜打検査が望まれる



中国家電リサイクルの一端



